

全国農政連推薦・農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「コロナ禍の教訓を次のステップへ」 「異例尽くめ国会が開会」

1月20日に召集され、6月17日に閉会した通常国会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月以降の国会審議、農水省の公務は新型コロナウイルス問題一色。緊急事態宣言の発出、段階的な解除から全面解除と、刻一刻と変わる状況に必死に対応してきました。

自民党でも各部会や議連、勉強会の開催が原則ストップし、永田町での過ごし方も大きく変化しました。こうした中、国会審議も予定通りとはいかず、種苗法改正案は秋の臨時国会以降に先送りとなりました。国会会期中であれば、普段は多くの支援者や関係者、陳情にいらっしやる方々で溢れる議員会館も閑散としています。緊急事態宣言が解除され、県域を跨ぐ往来が徐々に増えてくると思いますが、第2波、第3波への警戒も重要です。最近、都心の過密な空間から、地方の魅力が注目されています。この機により一層、食料安全保障の強化、農村振興対策に取り組みます。特に、食料安全保障は生産現場の方々と力を合わせ、生産基盤を守るために全力で頑張ります。

「地域を担う農家を全力で応援」

今国会で中心となったのは、やはり
「コロナウイルス感染症を乗り越えるた

めの令和2年度補正予算の審議です。第1次、第2次と補正予算が編成され、合計で事業規模約234兆円、財政支出約60兆円という巨額の経済対策が措置され、農林水産関係では1次補正で5448億円、2次補正予算で658億円を確保することができました。生産現場の不安や混乱を払拭し、農林水産業の皆さまが前向きに取り組むことが出来るよう支援策の策定に力を入れてまいりました。

地域を担う農家の経営継続を維持するための「経営継続補助金」の措置や、野菜・花き・果樹などの高収益作物の生産体制強化に向けた「高収益次期作支援交付金」の支援策をはじめ、金融支援策、飲食需要の喚起策など必要となる対策を講じています。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



▲参議院農林水産委員会にて答弁

全国・農政連推薦
参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「日本の種子・種苗と農業・農村を守る」

「コロナの行方とその対策」

緊急事態宣言は解除されたものの、我慢に我慢を重ね、引き続き三密を避けた生活が求められます。

新型コロナウイルス対策には、想定されるあらゆる方策が検討され、その政策も幅をもって運用できるよう措置されています。政府全体の緊急対策関係措置は1次・2次補正合計で57兆円にのぼり、農林水産関係も、大きな枠での対策ですが、品目ごとの対策、将来に備えての準備対策も幅広く検討され、運用されるよう工夫されています。

農林水産関係の予算は全体で1次・2次補正で6106億円に上っています。内容も多様です。現場で、「こう使おう」という知恵が働くようにされていると思います。

「種苗法改正に向けて」

江藤農林水産大臣の明快な訴え

2年前の種子法の廃止に始まった種苗法の改正は、これまでの農業者や地域の取り組みを抜本的に変えかねず、生産農家に大きな負担を与えるものだとする心配の声が全国から出て

きています。心配の種は、必要な種子が手に入らなくなるのではということ、これまで農業者自らが自家採種していたのに、それが出来なくなると、よそから高いものを買わなければならぬのではないかとということです。

この点について、江藤大臣は、明快に答えてくれています。

一番心配されている自家増殖については、「一般品種であれば、何の制限もなく作付けできるということ、例えばコメについては84%が一般品種、ミカンは98%、リンゴは96%が一般品種であり、これらの作付けには、今まで通り何ら制限がないとしています。もちろん、イチゴなど、有名ブランド品種は、当該県に許諾料を支払っていて、今回改めて問題になるようなことはないとしています。ただし、平昌オリンピックのカーリング選手が食べていたイチゴは、日本から種苗が渡ってしまっていたもので、しっかり保護されていなかったということ、今後、登録品種として、しっかり守ることが必要です。常に議論になる和牛は、遺伝子がきちんと保護されています。

大臣は、今回の種苗法の改正で、大切な種子・種苗は、海外に流失させないことを明確に規定するとしています。今回の改正は、こうした意義を持つものなのです。

参議院議員



Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

活 動 報 告

新型コロナ対策に全力で
立ち向かっています

生産現場を経験した
唯一の国会議員として

より一層農政に多様な
農家の声を反映させます



国会答弁で畜産農家の実情を説明
(参議院農林水産委員会)



「たべる!のお!かざる!
産地応援プロジェクト」



WEB会議で有識者と意見交換
(農水省コロナウイルス対策本部)



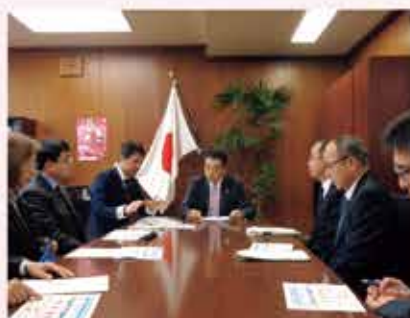
耐候性ハウスの実証実験圃場を視察
(群馬県川場村)



家畜伝染病予防の水際対策を確認
(那覇空港)



50万パワー☆を実感
(JA全国女性大会)



茨城県大井川知事とCSF対策を協議
(農水省政務官室)